

おサイフの おサイフのためにどんな

取り組み ことをしているの？

おサイフの健全性を保っていくための取り組みを紹介します。

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」での取り組みを紹介するのじゃ

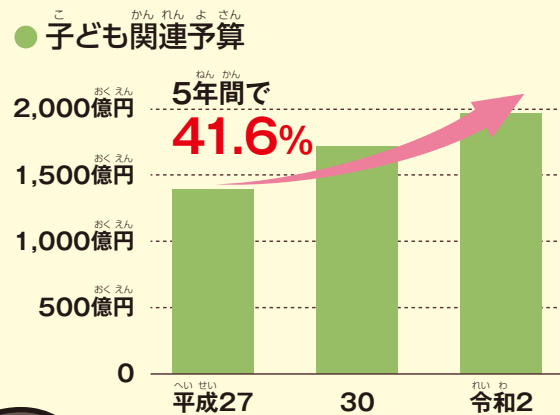
その1 メリハリのある「おサイフ」

- 街のリニューアルや子ども・子育て支援など、未来への投資に、積極的にお金を使います。

3ページの令和2年度予算のポイントをもう一度見てみよう

- 4年分のお金の集め方、使い方の計画である、中期財政フレームに基づいて、仕事をしていきます。

- 中期財政フレーム(一般会計) ※令和2年度予算反映版



集めることのできるお金をやりくりして重要なことにより多く使っていくよ

	令和元年	2	3	4	期間合計	
歳入	一般財源	5,535億円	5,593億円	5,606億円	5,616億円	2兆2,351億円
	国・道支出金	2,911億円	3,003億円	3,105億円	3,189億円	1兆2,209億円
	市債	552億円	536億円	711億円	667億円	2,466億円
	その他	1,211億円	1,135億円	1,157億円	1,142億円	4,644億円
	基金活用額	18億円	28億円	141億円	87億円	274億円
	合計	1兆227億円	1兆295億円	1兆721億円	1兆702億円	4兆1,944億円
歳出	義務的経費	5,643億円	5,838億円	5,921億円	6,015億円	2兆3,417億円
	職員費	1,566億円	1,575億円	1,552億円	1,553億円	6,246億円
	公債費	869億円	896億円	908億円	915億円	3,589億円
	扶助費	3,207億円	3,367億円	3,461億円	3,547億円	1兆3,581億円
	他会計繰出金	1,062億円	1,082億円	1,118億円	1,135億円	4,397億円
	建設事業費	1,034億円	1,007億円	1,197億円	1,183億円	4,421億円
	その他事業費	2,489億円	2,368億円	2,485億円	2,368億円	9,709億円
	合計	1兆227億円	1兆295億円	1兆721億円	1兆702億円	4兆1,944億円

その2 持続可能な「おサイフ」

- より大切な仕事に力を入れるため、市役所の仕事のむだを減らします。

- 公共施設マネジメントを推進します。



市じゃなくてもできることは民間の力も活用しよう

前のページでどんなことをやっていくかわかったね



その3 将来を見据えた「おサイフ」

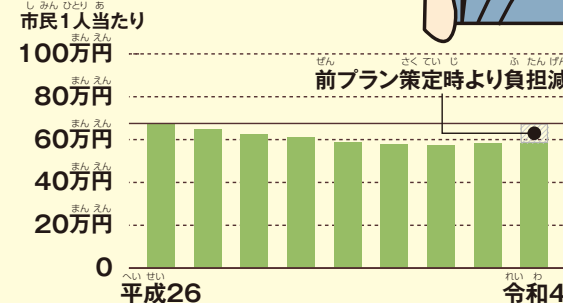
- 子どもたちの将来の負担が大きくなりすぎないように、借金の金額をコントロールします。

- 市の預貯金である財政調整基金が減りすぎないように、収入と支出のバランスを取ります。

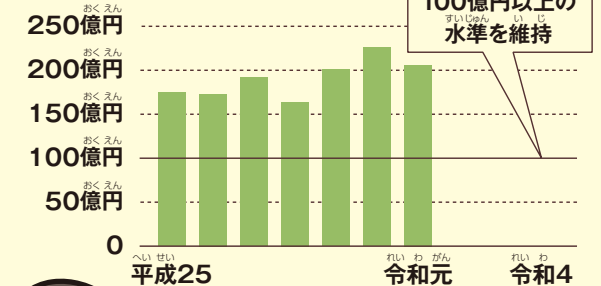
人口が減ったとしても1人当たりの負担額が大きくなりすぎないようにするのじゃ



- 市債残高コントロール



- 財政調整基金の維持



大雪や災害の時のために少なくとも100億円より減らさないようにするよ

札幌市の財政はいろんな指標を見ても健全だね!

ただこの後公共施設の建て替えをしていかなきゃいけないんだね



子どもたちの負担が大きくなりすぎないように様々な工夫をしてお金を集めたり使っていかなきゃいけないのでござる

